

周布 まちづくりセンターだより

第 60 号 かわら版(第258号)

令和 8 年(2026年) 3月号

浜田市周布町1374

TEL/FAX(0855) 27-0058

メール sufu-k@ph-hamada.jp



周布地区 1月末 現在
世帯数：2,291 (前月比-5)
人口：4,669 (前月比-14)
男2,248 (-4) 女2,421 (-10)



書き初め会 (運営推進委員主催事業)

1月5日(月)、書き初め会を開催しました。小学生16名が参加し、真剣な表情で一文字一文字丁寧に筆を走らせた。

書道サークルの協力により、5人の希望者が大文字のパフォーマンスに取組みました。普段より大きな筆に力を込めて、『午』の文字を書きあげました。



運営推進委員、中学生ボランティアが子どもたちのそばで優しく声をかけ、書道サークルメンバーが指導し、練習から清書まで集中して取り組むことができました。



出来上がった作品に「みんな大変良くできました。」と講評をいただき、子どもたちは達成感や充実感を得ることができました。

終わりに、手作りのぜんざいを全員で会食し、交流を深めました。子どもたちの作品はロビーに展示し、来館者の関心を集めました。



協働のまちづくりフォーラム

2月15日(日)、浜田ニューキャッスルホテルにて協働のまちづくりフォーラムが開催されました。実践事例の発表として当まちセンが『スマイルフル～つながりづくりを通して～』と題し、笑顔あふれる周布をセンターが中心となって地域全体へ広げていきたいと発表しました。

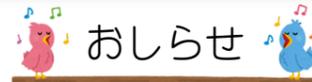


花=笑顔

花で地域住民の笑顔を増やすことを目的とし、今年度新規事業に取り組みました。夏と秋に周布保育園園児、みらチャレ参加者、中学校の生徒(職場体験)と地域住民と一緒に種をまき、苗植えをしました。

また、プランターをみた来館者が善意で花を植えて来て下さいました。朝顔やひまわりをみた来館者に

笑顔が溢れていました。そして、厳しい冬を乗り越えた球根は、新しい芽を出し、春には花が咲き、みなさんの心にも笑顔の花を咲かせてくれることでしょう…。



お知らせ

お問合せ まちづくりセンター ☎27-0058



集めてます こいのぼり

家で眠っているこいのぼりをセンターでおよかせ、地域の子どもの健やかな成長を願いましょう!! 5月頃、センター周辺に掲げる予定です。なお、集めたこいのぼりは、返却いたしません。予めご了承ください。〈募集期間:3月31日まで〉

子育て広場
3月12日(木) 10:00~11:00
場所: 周布まちづくりセンター
内容: おたのしみ会
~みんなでワッフルを食べよう~
申込: 浜田市社会福祉協議会 ☎22-0094

3月 センター利用予定表

2月19日現在

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
周布橋開通式典	ラジオ体操 のびのび3B体操	周布の匠 空手教室	周布地区グラウンド ゴルフ大会 周布コーラス		書道サークル スポーツ吹矢	
8	9	10	11	12	13	14
煌めきクラブ定例会	ラジオ体操 大正琴	空手教室	フォークダンス 詩吟教室 元気アップ3B	子育て広場 アロハアイナひなし	ボールエクササイズ 書道サークル スポーツ吹矢 アロハアイナ周布	
15	16	17	18	19	20	21
	ラジオ体操 のびのび3B体操	空手教室	フォークダンス 詩吟教室 運営推進委員会		春分の日	
22	23	24	25	26	27	28
	ラジオ体操 大正琴	空手教室	フォークダンス 詩吟教室 元気アップ3B 生花教室	アロハアイナひなし	ボールエクササイズ スポーツ吹矢 アロハアイナ周布	
29	30	31	季節の変わり目です。寒暖差に注意しましょう!!			
	ラジオ体操	空手教室				

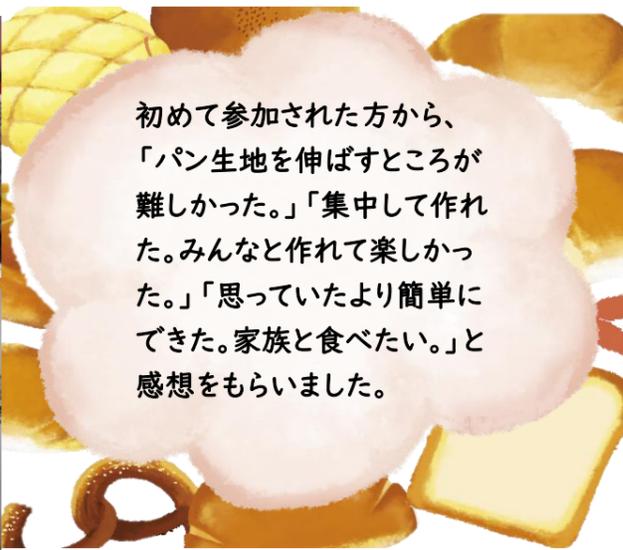


パン教室



久保利京子さん

1月29日(木)、久保利先生のパン教室に12名参加しました。今回、2種類のパン(みつごのロールパン竹輪とクリーム)を作りました。初めての方にもわかりやすく手順事に説明をされました。みなさん和気あいあいとパン作りをし、おいしそうなおパンが仕上がりました。



初めて参加された方から、「パン生地を伸ばすところが難しかった。」「集中して作れた。みんなと作れて楽しかった。」「思っていたより簡単にできた。家族と食べたい。」と感想をもらいました。



1月の周布小共育だより

1年生



お手玉



おはじき



だるま落とし



竹ぼっくり



竹とんぼ



めんこ

1月15日(木)、1年生が「昔遊び」を行いました。8ブース(竹ぼっくり・めんこ・お手玉・竹とんぼ・こま・おはじき・けん玉・だるま落とし)を順番に回りました。竹ぼっくりは、地域の方に新しく作ってもらいました。最初に、ボランティアの皆さんが、道具の遊び方を教え、子どもたちは時間いっぱいできるように何度も挑戦していました。ボランティアも子どもたちから元気をもらった会となりました。



できたよ(^~^)



こままわし



けん玉



周布まちセン環境美化

12/16,1/20,2/17に浜田養護学校高等部清掃班のみなさんがまちづくりセンターの館内清掃と窓掃除を行ってくれました。今年度6回清掃に来てもらい、寒い中館内外をきれいにして頂きました。清掃では、窓の高い所まで掃除してもらいました。



ありがとう
ございました

今年度参加協力をした事業

- ☆サマーフェスタと準備
- ☆グリーンフェスタと準備
- ☆芸能発表会
- ☆餅つき交流会&ゲーム
- ☆新年書初め会
- ☆あいさつの日 1・15(いいご)

中学生ボランティア



延べ130人の中学生がボランティアに参加しました。三年生は卒業ですが、これからも地域活動に積極的に参加してもらいたいです。ご協力ありがとうございました。

生徒の感想

ボランティアすることで自分自身プラスになった

☆ボランティアになぜ参加しようと思ったのか?

- ・地域貢献をしたかった
- ・地域の人と交流
- ・地域活動に参加
- ・自分自身の成長

☆ボランティアをしたことで、日常生活に変化はありましたか?

- ・地域の人とのあいさつ
- ・役割に責任をもって取り組む
- ・自分に出来ることは何かと考えるようになった

☆これから地域の為にどんなことをしたいですか?

- ・今の行事が無くならないように内容や企画に関わる
- ・地域の清掃活動
- ・防災関係
- ・お年寄りの方や小学生など保育園児との交流

☆地域の為にどんな人になりたいですか?

- ・清掃活動やあいさつ運動など、身近なことから積極的に取り組みたい。将来は学んだ知識や技術を活かして、地域の生活を支える人になりたい。
- ・困ってる方には助けてお年寄りから保育園児にもコミュニケーションをとって小さなことでもいいから地域をよりよくしていきたいです。
- ・地域をよりよくするためにボランティア活動に積極的に参加し地域を盛り上げたい。

保護者の感想

☆お子さんがボランティアに参加することについてどう考えておられますか?

- ・地域の方と触れ合えるいい機会だと思う
- ・人との関わり方、会話を大切にして成長をしてほしい
- ・異世代の方と協働することで視野を広げたり、コミュニケーション力を高めることが出来る

